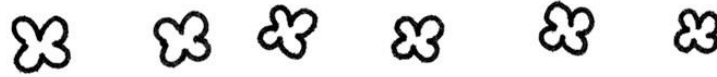


きたおおじ保育園

2024年度 園だより 4月




<一緒やなあ♡>  ♡  ♡  ♡  ♡  ♡ 

神社の広場で、卒園間近の仲間が楽しそうに走っています。入園したばかりの頃はまだハイハイしていた彼女が駆け抜けていく様子を見ただけでウルウルします。ちゃんと「よーいドン！」のかけ声にあわせて走り出します。「わたしの勝ち〜！」とか嬉しそうに叫んでいます。勝ちとか負けとかも分かってきたのかとつくづく感心しながらも、もしやこれはどっちが勝ったとかでケンカになるパターンかな？と少し心配していると、案の定2人の仲間が「わたしの勝ち〜！」「わたしの勝ち〜！」と一緒に叫んでいます。いよいよきたか〜!?と思いきや「わたしの勝ち〜！」に続き、ふたりで顔を見合わせて、「一緒やなあ〜！」「一緒やなあ〜！！」だって(^.^)。振返ってみれば「一緒やなあ」っていっぱい言い合ってきたよね。最後にもしっかりとわたしを魅了させてくれる仲間たち。そして始まる2024年度！！

<ご入園おめでとうございます！> 

新入園の皆さま、ご入園おめでとうございます！初めての保育園生活に戸惑いを感じたり、ご家族の皆さまも不安な事が多いかと思いますが、職員一同でサポートし、日々子どもたちの小さな変化や成長に寄り添いながら過ごしていきたいと思ひます。また、毎日と一緒に過ごす中で、ひとつひとつの成長をご家族と共に喜びあいながら、子どもたちの育ちに寄り添っていききたいと思ひます！

<愛されて育つ子どもたちに> 



かつて♪ありの～ままの～♪って歌がブームとなりました。それは「ありのまま」でいる事の難しさを意味しています。大人になっていくにつれ「ありのまま」でいる事が難しくなっていく。笑顔を見せてはいけない。怒りを抑えなくてははいけない。涙を堪えなくてはならない。不安や寂しさまでも、本当の自分を押し殺さなければならぬ環境に子どもたちは向っていくのです。そうなる前に、子ども達にとって必要な事は何でしょうか？情操教育や幼児教育といったものよりも、「自分は愛されている」といった経験です。もしかしたら、子ども達にとって今しか溜める事が難しいパワーかもしれません。きたおおじ保育園では、教育目線で接して、教えた事が出来ず腹を立てて怒るのではなく、その子の“そのまんま”を受け入れていきたいのです！



今年度も愛してやまない子どもたちと一緒に、笑ったり、泣いたり、怒ったりしながら過ごしていきたいと思ひます。2024年度もよろしくお願ひいたします。

主任保育士 糸井恵太

